



ほけんだより

令和3年11月号 もく保育園看護部 大前

日中のポカポカとしたおひさまがより温かいと感じられるほど、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まるころとなりました。

一方で、インフルエンザを始めとする感染症には、とくに気をつけなければならない季節でもあります。新型コロナ対策と合わせて、引き続きお子さまたちの健康管理・安全対策に取り組んで参りたいと思います。



インフルエンザを予防しよう！

潜伏期間：1～3日

症状：突然の発熱（38℃以上）、関節痛、筋肉痛、頭痛、全身倦怠感など

感染経路：感染力がとても強く、短期間に拡大する。

接触・飛沫感染（くしゃみ・せき）

抗原検査：一般に発症後12～48時間以内に検査をすると、正しい結果が出ると考えられています。

治療：発症より48時間以内に治療を始めると症状の緩和だけでなく、重症化を防ぎ、回復を早めることが期待されています。

症状が良くなっても、薬は医師の指示のとおり、最後まで継続することが大切です。

- 予防
- ①十分な栄養と休養
 - ②加湿・換気（室温20度前後、湿度50～60%）
 - ③石けんでの手洗い・消毒
 - ④マスク・咳エチケット
 - ⑤人混みを避ける
 - ⑥予防接種で重症化予防



インフルエンザ登園停止期間早見表

例	発症日	発症後5日間（登園停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後 1日目に 解熱した 場合		解熱 	1日目 	2日目 	3日目 		登園 OK 		
発症後 2日目に 解熱した 場合			解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK 		
発症後 3日目に 解熱した 場合				解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK 	
発症後 4日目に 解熱した 場合					解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK

インフルエンザウイルスは、発熱などの症状が治まっても感染力が強いため、学校保健安全法により、

『発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで』

登園できないと定められています。

お子さま及び同居者がインフルエンザと診断された場合は、速やかに園までご連絡ください。また、体調不良がある場合には、早めに受診し、医師による診断をしていただくことをお勧めいたします。

普段、発熱した際は、解熱後24時間経過したことを確認の上、登園して頂きますよう、お願い致します。

今年度は、やまゆりと連携をとり、インフルエンザワクチン接種を実施中です。つきましては、アンケートにご協力をいただき、どうもありがとうございました。

